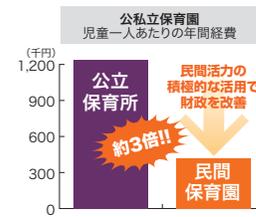


未来に責任

財政再建

広報では、黒字財政を謳っていますが、そもそも自治体会計の仕組みでは、借金(市債発行)も歳入に入る計算をしています。よって借金をするほど、黒字が大きくなる。家計で考えれば、ありえない話であり、収入の範囲内でやりくりする仕組みへ転換を図っていく必要があります。



- これから取り組むべきこと
- 市債発行の抑制
 - 民間活力の更なる導入
 - 優先順位を見極めて事業の縮小・廃止

教育改革

基礎学力の向上

学力学習状況調査では、枚方市は大阪府内でも重点地域に選ばれている。点域に選ばれているなど、厳しい結果です。子供たち一人一人に主体的に学び取る姿勢を身につけさせ、基礎学力を向上していかねばなりません。

総合的な学習と道徳教育の充実

規範意識を高め、生きる力を身につけていくために、家庭・地域・学校が連携して総合的な学習の時間、また道徳教育の充実が必要です。

- これから取り組むべきこと
- ユニバーサルデザインの授業環境の整備
 - タブレット等ICT機器の更なる活用
 - 予習を重視した反転授業の試行

- これから取り組むべきこと
- 世界から称賛される日本人・偉人伝の授業
 - 「私たちの道徳」の地域・家庭と連携しての活用
 - キャリア教育の重点化「何のために学ぶのか」



岩本ゆうすけの議員としての4年間

重点項目

今号では、この4年間の岩本の活動から、とくに重点をおき推進してきた政策・活動をお届けします。

次世代にしっかりと残すために

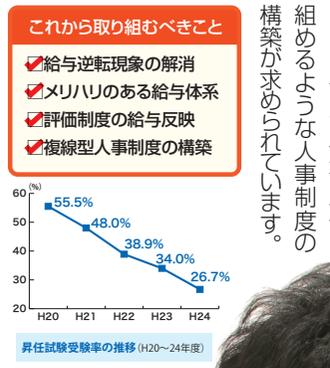
子育て支援

保育需要が増加する中、希望の保育所に入所できない方を含めた、待機児童の解消を図り、また同時に保育の質を高めしていく必要があります。

- これから取り組むべきこと
- 小規模保育施設の活用
 - きょうだい入所の解消 (※兄弟別々の保育園に入所の状態)
 - 病児保育の拡充
 - 保育園への看護師配置の支援・補助
 - 駅近や余裕教室・施設の活用による保育所設置

市役所改革

昇任試験の受験率がここ数年で半分以上に低下しています。職員意欲をさらに高め、仕事に取り組めるような人事制度の構築が求められています。



自立支援

本間に支援が必要な方を支え、段階を経て自立につなげていく。生活保護の運用適正化を図り、就労支援にも注力が必要です。

超高齢社会への対応

市民が健康上の問題なく暮らせるよう、健康寿命の延伸策(健康増進の取り組み)が重要で、

- これから取り組むべきこと
- 介護予防のまちづくり
 - 予防医療の取り組み強化
 - 検診率向上※



岩本の考え

市政ニュース **留守家庭児童会(学童保育)の時間が変わります**

平成27年4月より、留守家庭児童会の3期休業時(夏・冬・春休み)の開室時間が午前8時30分から8時に変更になります。

出勤時間を考えると、不便だった開室時間が30分間早まることで、利用者にとっては利便性が大きく向上します。今後も、保護者の様々な勤務日・勤務時間の実態に合わせ、土曜日開室や更なる時間の拡大を図るべきです。

すべては、枚方の未来のために

「あれもやります、これもやります。」こうした政治が続いた結果、国は借金1,000兆円を突破しました。人口が減少し、少子高齢化が進む今だからこそ、誰かが「改革」の声を上げなければなりません。

4年間、行財政改革の先兵たらんと、税金の使い方をただしてきました。そして行財政改革で生み出したお金により、教育改革をはじめとした未来への投資、浸水対策等の安心・安全のまちづくりを行うべきと提案してきました。

議員の「実績」とは？

今回、4年間の活動について報告致しました。政策の中には実現し、前に進められたものもあります。しかし政策とは本来、議員個人や会派の力だけで実現できるわけではありません。他党派の議員をはじめ、市職員や関係機関の方々など、多くの人の力が合わさり、実現しております。ご意見やお声を下さった方々、ここまで支えてくださった市民の皆様には大変感謝しております。



一歩前進へ!